

問1. 「新しい発見だなあ。」と思うところに線を引ながら文章を読みましょう。

問2. 打撃が「高次のコミュニケーション」であるとはどのようなことですか。

.....
.....
.....
.....

問3. 筆者がイチロー選手の打撃に驚いていることはどのようなことですか。

.....
.....
.....
.....

問4. 筆者が社会的・政治的な教訓としてイチロー選手の打撃と明確に予期していた球だけを打つ打者との違いをどのように述べていますか。

.....
.....
.....
.....

問5. 筆者がユートピアを可能な現実と捉え直す勇気を与えられたのはなぜですか。

.....
.....
.....
.....

問6. この文章を読んで、あなたはどのように思いましたか、書きましょう。

.....
.....
.....
.....

劇作家の寺山修司は、野球を通じて民主の思想を身につけた、と書いている。寺山の論は、キャッチボール・特に投手と捕手の間のそれが、相互の信頼を基礎にするコミュニケーション(会話)だという洞察に基づいている。これを受けて、私たちはぜひに付け加えるべきだろう。打撃は

退したイチローの野球を通じて、現代的な民主主義や開かれた社会はどのようなべきかを学んでいくことができる。イチローの驚異的な技術は、打撃ということへの根本的な態度の変更をもたしている。これがどういふことかは、イチローの素振りからわかる。イチローは、打つ時とは異なるフォーム、ゴルフのスイングのようなフォームで素振りをする。

ここで驚くべきは、イチローが、スイングを始めてしまった後でさえも、バットの軌道を修正して、想定外の球に対応しようとしていることである。リリースされた球がホームプレート

悪球を打たなければ、イチローの成績(打率や出塁率)はもっと高かったはず、その中に入る球に狙いを定めて後ろに保ち、広い可動域(より多くの可能性)を残しておくなくてはならない。「胸を投手に見せないように」という意識を確認するのだ。イチローは暗い。しかしイチローは違う。イチローの打撃をスローモーションの映像で見ると、彼の方針に技術的な裏付けがあることがわかる。スイングの途中で、バットのコースやタイミングを微修正し、安打にすることがあるのだ。

社会の多様性が大事だが、異なる他者に寛容で開かれた社会がよい、というよりは、今日誰もが言うように、誰もがいつか暗黒のうちにときには明示的に、われわれにとって役立つ、かつ行儀のよい他者が想定されている(例えば外国人労働者)。あるいは「異質」といっても、無害で、独特の文化や習慣で私たちが美的に楽しませてくれる程度の他者が思い描かれている(例えば多文化主義)。他者へのこうした態度は、明確に予期していた球だけを打つ打者のやり方と同じだ。

テレシ番組でその理由を問われたとき、イチローは次のように解説している。打者は、スイング時に、自

分の胸を(投手)に正さない。だからほとんどの対戦投手と負けである。このときテリップがかなり前方に来ているため、その後バットの可動域が小さくなる。予想外の球種やコースに対応するには、打者は

外に対応しようとしていることである。リリースされた球がホームプレート

だが真に開かれた社会とは、予期や想定を越えたい何かをなすという他者を受け入れ、歓迎する社会だ。そういう他者との間には驚異もあるはずだが、にもかかわらず、「二つの世界」の中で彼らと共存し協力するのだ。そんなものは理想主義的なユートピアだ、と思ってもいい。しかしイチローは、不可能に見える奇跡の技術でも現実になることを証明した。この事実が、ユートピアを可能な現実と捉え直す勇気を私たちに与える。

論考2019

大沢 真幸

開かれた社会へ勇氣 イチローの打撃に教訓

分の胸を(投手)に正さない。だからほとんどの対戦投手と負けである。このときテリップがかなり前方に来ているため、その後バットの可動域が小さくなる。予想外の球種やコースに対応するには、打者は

だが真に開かれた社会とは、予期や想定を越えたい何かをなすという他者を受け入れ、歓迎する社会だ。そういう他者との間には驚異もあるはずだが、にもかかわらず、「二つの世界」の中で彼らと共存し協力するのだ。そんなものは理想主義的なユートピアだ、と思ってもいい。しかしイチローは、不可能に見える奇跡の技術でも現実になることを証明した。この事実が、ユートピアを可能な現実と捉え直す勇気を私たちに与える。

このコミュニケーションを妨害しているように見えて、実は投手の球に反応することであり、「対決」の姿勢をも包摂したものに高次のコミュニケーションなのだ。

現代的な民主主義

この点を理解しておけば、寺山が書いてから半世紀以上後を生きる現在の私たちは、今度は、3月末に引



素振りをするイチロー

歓迎の態度の表明

さて、ここにどんな社会的・政治的な教訓があるのか。先に、野球の打撃は、打球という他者に反応することであり、高次のコミュニケーションだと述べた。

社会学(社会学) (月一回掲載します)

(2019年4月12日付・岩手日報17面)